

令和2年度 第1学年 前期授業アンケート結果 分析表

国語総合 (現代文)	概ね取り組みの状況は良好である。考えてくこと、書いてくことやその範囲を明確に指示することで予習や復習の取り組みが一層なされるようにしていきたい。また、様々な文章を読み、関連させて考えるという機会を少しでも多く持つよう心がけたい。
国語総合 (古典)	文法事項の習得で苦勞している生徒は多い。今後は、まずは文章を読み、味わい、楽しむ中で文法事項の確認をしていくという段階に移行していきたい。また、指示を明確・具体的に出すことで予習への取り組み改善につなげていきたい。
現代社会	多くの生徒が授業に集中して取り組めており、授業の難易度もちょうど良いと回答している。グループ学習はほとんどできていないが、学習に対する意欲が高い生徒は多い。今後とも、生徒たちの実生活に振り返る機会を与えられるような深い学びとなる授業展開を行ってきたい。
数学 I	新型コロナウイルスに関連した休校、リモート授業などの影響はあまり見られず、多くの生徒が予習・授業・復習に熱心に取り組んでいる。授業進度や内容は概ね適切であるが、生徒の実態に応じて、発展的な学習も取り入れ、理解度に不安を抱える生徒には、予習・復習の徹底を継続して指導したい。予習を前提とした授業をしながら、基礎から応用へ丁寧な指導を心掛けたい。
数学 A	新型コロナウイルスに関連した休校、リモート授業などの影響で、例年より授業数がやや少ないことで「遅い」と感じている生徒がやや多い。今後は指導できる時間数を確認しながら、内容習得へ向けて工夫していきたい。特に演習不足、時間数不足で理解度に不安を抱える生徒には、予習・復習の徹底を継続して指導したり、演習を工夫するなどしながら、基礎から応用へ丁寧な指導を心掛けたい。
物理基礎	公式の暗記ではなく、グラフなどを用いることで本質的な理解を促す授業を行っている。これに対して、大多数の生徒が集中して授業に組み、難易度については、ちょうど良い～やや難しいと回答している。「学び」の観点から見るとよい傾向と言える。ただ、理解が進んでいないと感じている生徒も一定数いるので、授業と家庭学習を両輪として理解を促していきたい。
化学基礎	授業を大切に、興味関心を持って臨み、内容が理解できている生徒が多いと感じる。一方で、内容が難しい、進度が早いと感じている生徒も一定数いる。実験などを取り入れたグループ学習などを通し、理解が深まるような授業展開を今後も心がけていきたい。
保健体育	大半の生徒が授業に集中して取り組めており、進度・難易度についても適切である。授業は週2回ではあるが、全体の技能・体力の向上が見られる授業内容への工夫が必要である。今後もグループ学習等を積極的に取り入れた授業を実施していきたいと考える。
音楽 I	多くの生徒が集中して取り組んでいる。生徒自身の音楽経験の差はあるが、初めて体験する楽器や、鑑賞を通した新たな音楽文化との出会いもあり、音楽に対するいろいろな考え方が身に付いたと回答する生徒も多かった。楽器の個別指導や、感染予防対策を取りつつこれまで出来なかった合唱活動・グループ練習の充実も図り、生涯にわたって芸術を愛好していけるよう、学習内容を工夫したい。
美術 I	多くの生徒が授業に集中し取り組んでいる。制作時間が多いので巡回を増やし、個人指導を充実させたい。グループ学習や発表などの手法については美術科として内容の工夫をしたい。
書道 I	多くの生徒が授業に集中して取り組めており、授業の難易度もちょうど良いと回答している。グループ学習はほとんどできなく、当初の授業内容の変更も余儀ない状況である。生徒たちの意欲がより増し、芸術的な思考が活性化できる内容を今後も展開していきたい。
コミュニケーション英語 I	多くの生徒が集中して授業に取り組んでいる。進度・難易度とも適切であると感じている生徒が多い。予習・復習の習慣化を徹底し、英語運用能力の向上を図る授業展開を目指したい。
英語表現 I	多くの生徒が集中して取り組んでいる。授業への関心・意欲が高く、授業に満足している生徒の割合も高い。ソーシャルディスタンスに考慮した効果的な活動を更に検討したい。予習・復習の徹底を促し、英語運用能力の向上を図る授業展開を目指したい。
家庭基礎	多くの生徒が授業に集中して真摯に取り組んでいる様子が伺える。年度当初、計画通りに進路を進めることができなかったが、今後は様々な課題への問題解決に向けて、的確な判断力が育成できるような授業を展開していきたい。
情報の科学	多くの生徒が集中して取り組んでいる。引き続き興味関心が持てるような授業展開を心掛け、高い関心・意欲を持つ生徒をさらに伸ばす指導を行う。実習ではスキルにばらつきがあり、最初は戸惑う生徒もいたが T T による指導で充分に対応できており、スキルも向上している。実習を通して計画的に物事を進められるように指導していく。

令和2年度 第2学年 前期授業アンケート結果 分析表

現代文B	授業の難度、進度は概ね生徒の実態に合っているようだ。全体的に学習に意欲的に向かっているが、復習が十分でない生徒もあるので、復習を促す働きかけをしていきたい。
古典B	授業の難度が低くはない中で、生徒はよく努力している。今後も、基本事項の確認を繰り返し行いながら、それらを用いることで「自分で読める」喜びを感じさせ、さらに深い理解につなげていきたい。
世界史A	授業の進度、理解度などに対して良好な回答が大多数であった。例年はグループワークを用いた探究学習を積極的に取り入れて、生徒の志向に応じた学習を進めているが、今年は感染対策のためにやりづらい状況が続いている。今後、現代史の内容に入っていくので、現代社会の諸問題がどのような経緯で生まれてきたのか、そして私たちがそこにどう向き合っていくかを考えていける授業を構築していきたい。
世界史B	多くの生徒が意欲的に取り組んでおり、興味関心も高まったようで、授業内容・難易度などについて概ね良好な回答を得た。進度について困難さを感じている回答があったので、授業内容の精選など工夫をしていきたい。今後も引き続き生徒の状況を勘案しながら、授業内容の精選や教材研究に努め、歴史の多面性を感じ歴史への理解が深まる授業に努めたい。
日本史A	人数が少ない点を効果的に活かし、教室での講義形式の授業はほとんど行わなかった。主に学校図書館を利用して、グループ分けを行い、教科書の記述に対して自ら設問を設定したり、原史料の読解、発表を行う授業を数多くおこなった。授業の内容・進度・難易度などに対し、概ね満足という結果であった。今後も教科書の記載以外にも多くの歴史的事実が存在することを意識させ、同時代の資料活用などを通じて、歴史に対する理解が深まるように気を配っていききたい。
日本史B	概ね良好な回答を得たと考えている。その一方で少数だが、授業理解等について分かりづらさを訴えている回答もみられる。今後、進度が進むに連れ、単なる暗記では対処しきれなくなっていくことが予想されるので、様々な形で復習の機会も増やし、生徒の興味関心がさらに深まるよう気を配っていききたい。
地理A	全体的にみると、概ね良好（肯定的）な回答ではあった。しかし、生徒の学習意欲や関心を引き出す点で改善の余地がある。単位数が少ない上に、コロナ対策のため、時間数が少なく協調学習や調べ学習の時間が少なかったが、今後は増やしていきたい。また、授業方法や教材なども改善していきたい。
地理B	コロナ対応で多少の遅れはあったが、現在は取り戻している。しかし、協調学習は行にくい状況が続いている。授業の進度や難易度の面では概ね良好（肯定的）な評価であった。しかし、生徒の興味や関心を引き出す点では、今後改善の余地がある。授業内容についての理解が深まるよう、さらに生徒の知的好奇心に応えていけるよう、より一層深みのある授業づくりに努めていきたいと思う。
倫理	新型コロナウイルス感染症対策のためグループ（ペア）学習を実施しなかったこともあり、グループ（ペア）学習に関する項目については例年より低い数値となっているが、授業に集中して取り組むことや授業の難易度、授業進度に関しては例年よりも肯定的な回答が多い。また、授業に対する興味・関心も高く、授業内容に深さを感じている生徒も多い。今後は万全の感染対策を施したうえでグループワークなど実施し、知識の定着にとどまらず、既有知識を使って課題解決において協議・討論するような授業に取り組みたい。
数学Ⅱ	授業の集中力、進度について肯定的な生徒は多い。授業での理解度については個人差があるが、予習・復習への取り組みが不十分な生徒も依然多い。再度、家庭学習の重要性を共有して、“予習・復習”と“学習の継続”を前提とした取り組みに努めたい。
数学B	生徒個々で授業の理解度については差があるが、多くの生徒が授業に集中しており、進度についても肯定的に捉えている。予習・復習に十分に組み合っていない生徒も見られるため、家庭における学習の重要性を共有し、予習・復習と学習の継続への取り組みに更に努めたい。
物理	大部分の生徒が集中して授業に取り組んでいる。難易度・進度については生徒によって感じ方に差があるが、深く考える授業を進めていくことで生徒の思考力を高め、「難しいが面白い」と感じられるような授業にしていきたい。
化学基礎	概ね想定した結果となっており、適切な進度・内容の授業をおこなえていると考える。感染症対策のため実験やグループ学習などの取り組みがあまりできなかったため、状況を適切に判断しながら今後協働的な活動を増やしていきたい。
化学	多くの生徒が授業を大切に、意欲的に学習に取り組んでいる。授業の進度が早いため、予習復習の家庭学習の重要性を今後も示していきたい。内容が難しく不安を感じている生徒もおり、個別の対応も必要であると考えている。
生物	多くの生徒が、授業に集中して取り組み、難易度が高い内容についても理解を進めていることがわかる。体系的な知識を構築するために、紙ベースだけでなく、実験で教科書の内容を補足・復習する等、より授業を工夫していきたい。
実践 生物基礎	おおむね良好な結果であった。PCやプロジェクトの活用などを通じてより関心を持たせる授業を心掛けたい。グループワークなども必要に応じて取り入れたいが、現状でよいと考えている生徒も多いことも考慮に入れながら工夫をしていきたい。
地学基礎	進度、難易度とも多くの生徒が肯定的に回答している。今後も実験や探究活動を進度に合わせて実施し、生徒の理解が進むようにしたい。また、地学は自然災害や防災など生活に直結した科目であるので、身近な話題も取り入れながら興味を高めていきたい。
コミュニケーション英語Ⅱ	1年次から継続して、多くの生徒が集中して授業に取り組んでいる。進度・難易度とも適切であると感じている生徒が多い。予習・復習の習慣化を更に徹底し、英語運用能力の向上を図る授業展開を目指したい。
英語表現Ⅱ	1年次から継続して、多くの生徒が集中して授業に取り組んでいる。授業への関心・意欲が高く、授業に満足している生徒の割合も高い。今後も新型コロナウイルス対策を踏まえた効果的な表現活動を更に検討したい。予習・復習の徹底を更に促し、英語運用能力の向上を図る授業展開を目指したい。
保健体育	大半の生徒が授業に集中して取り組んでおり、進度・難易度についても適切である。授業は週2回ではあるが、多くの生徒の技能・体力の向上が見られる。グループ学習の場を積極的に取り入れ、選択制授業の充実を図り、3年生の男女共修選択制授業へのよい準備期間となるよう働きかけていきたい。

令和2年度 第3学年 前期授業アンケート結果 分析表

現代文B	難易度の高い素材文を扱っているが、多くの生徒が主体的に取り組んでいる。引き続き思考の広がりや深まりにつながるような授業を目指したい。
古典B	古文漢文共に難易度の高い作品を扱っているが、多くの生徒が予習復習のリズムを作って取り組んでいる。生涯に渡り古典を友とすることにつながるような授業を目指したい。
世界史B	授業の難易度・進度・わかりやすさなど多くの項目で例年よりも肯定的な回答を得た。社会情勢の影響もありグループ学習に関する項目は例年より低い数値となっているが、進度や内容を勘案して状況を見ながら実施を検討したい。授業を受けて興味・関心が高くなった生徒も例年より多く、多くの生徒が意欲的に取り組んでいる。今後も引き続き生徒の状況を勘案しながら、授業内容の精選や教材研究に努め、歴史の多面性を感じ歴史への理解が深まる授業に努めたい。
日本史B	授業の進度、難易度などいずれの項目においても例年以上に生徒からの肯定的な回答を得ることができた。グループ学習などはコロナウイルス感染症対策もあって実施していないが、生徒もそのあたりの事情を理解してくれているので現在のようない形式で進めていきたい。日本史は例年授業進度の確保が課題となっているが、休校・分散登校などがあっても関わらず、適切な進度を確保できている。今後も生徒の学習意欲を高め、授業と自学を並行する形で理解を深めていけるように努力したい。
地理B	生徒の学習意欲が高く、関心を持って集中して授業に取り組んでいる。概ね肯定的な回答が多く、今後もさらに地理学の世界を深く感じてもらえるような活動を行いたい。また、地誌的な考察方法においても、主体的な学習による理解が進むよう工夫したい。
政治・経済	新型コロナウイルス感染症対策のためグループ(ペア)学習を実施しなかったこともあり、グループ(ペア)学習に関する項目については例年より低い数値となっているが、授業に集中して取り組むことや授業の難易度、授業進度に関しては例年よりも肯定的な回答が多い。また、授業に対する興味・関心も高く、授業内容に深さを感じている生徒も多い。今後は万全の感染対策を施したうえでグループワークなど実施し、知識の定着にとどまらず、既知知識を使って課題解決において協議・討論するような授業に取り組みたい。
数学Ⅲ	全体的に肯定的な回答が多い。授業の難易度、進度とも生徒の実態に合っている。生徒は概ね意欲的に取り組んでいる。内容の理解に苦労している生徒には、予習と復習の習慣が不足していると思われるので、指導を徹底し、授業の理解を高めさせたい。
発展数学 I A II B α (文系)	授業の難易度や進度など、肯定的に回答している生徒が多く、生徒の実態に合っていると思われる。全体的に生徒たちは意欲的に取り組んでいる。授業内容の理解に苦労している生徒は、予習と復習の指導を更に徹底し、授業の理解を高めさせたい。
発展数学 I A II B β (文系)	肯定的な回答が多く、授業の難易度、進度とも生徒の実態に合っている。意欲的に取り組んでいる生徒が大半であるが、理解に苦労している生徒には、授業の理解が高まるよう丁寧にアドバイスをを行うとともに、予習と復習の指導を徹底したい。
発展数学 I A II B III (理系)	授業の難易度、進度とも生徒の実態に合っていると思われる。生徒たちは概ね意欲的に取り組んでいる。授業内容の理解に苦労している生徒には、予習と復習を中心とした学習に取り組むよう、さらに指導を徹底したい。
物理	ほとんどの生徒が集中して取り組んでいると回答している。今後も基本的な事項から発展的な内容まで網羅しながら、様々な題材により視野を広げ思考を深めるような展開を心掛けたい。難しいと感じている生徒が粘り強く考えられるような工夫をしていきたい。
化学	進度はシラバスどおりであるが、週5時間と単位数が大きく、教科書の残りのページと共通テストまでの残りの日数に焦りを感じている生徒がいる。授業に対する興味・関心は高く、実験で体験する学習や問題演習を取り入れながら授業展開を工夫していきたい。
実践 化学基礎	問題演習を中心とした教科書の復習を主としているため、生徒による取り組みの積極性に差が生じているようである。実験を取り入れながら生徒が「考える」授業展開を心がけていきたい。
生物	生徒の意欲、授業の進度・レベルなどは比較的良好な意見が多かった。多くの生徒が授業に集中して取り組んでいる。今後は先端の内容を含め、高度な内容を扱う授業も心掛けたい。
実践 生物基礎	おおむね良好な結果であった。PCやプロジェクトの活用などを通じてより関心を持たせる授業を心掛けたい。グループワークなども必要に応じて取り入れたいが、現状でよいと考えている生徒も多いことも考慮に入れながら工夫をしていきたい。
実践 地学基礎	ほとんどの生徒が集中して取り組んでいると回答している。今後も基本的な事項から発展的な内容まで網羅しながら、様々な題材により視野を広げ思考を深めるような展開を心掛けたい。
コミュニケーション英語Ⅲ	1・2年次から継続して、多くの生徒が集中して授業に取り組んできている。進度・難易度とも適切であると感じながらも、積極的に難問レベルに挑戦する生徒が増加している。予習・復習も習慣化されており、最終学年として、英語運用能力を高める授業展開を目指したい。
英語表現Ⅱ	1・2年次から継続して、多くの生徒が集中して取り組んでいる。授業への関心・意欲が高く、授業に満足している生徒の割合も高い。今後ともソーシャルディスタンスに対応した効果的な表現活動を更に検討したい。予習・復習の徹底を促し、英語運用能力の向上を図る授業展開を目指したい。
保健体育	大半の生徒が授業に集中して取り組んでおり、進度・難易度についても適切である。3年生は週3回あるため、技能・体力の向上を感じている生徒が多いようである。男女共修選択制授業の充実を図り、生涯体育につながる力を身に付けさせたい。